



美容外科で できること

そもそも、美容外科って？

当院形成外科においては2003年11月より、美容外科外来を開設しています。形成外科では、先天異常、外傷後の瘢痕（きずあと）、癌の術後の患者さんなどに対して、機能と外見の改善を目的とした手術を行っています。この形成外科の治療技術を美容治療に利用したものが美容外科であり、現在では形成外科の一分野として位置づけられています。美容外科は、機能的には何の支障がなくても、それが精神的負担をもたらすものであるならば、美的に形成して精神的負担の除去、軽減をはかろうという美容を目的とした医療です。

● 当院美容外科の診療項目 ●

※ 詳細はお電話もしくは診察時にお尋ねください。
 ※ 一部保険適応になるものもあります。医師にお尋ねください。

診療項目		説明
重瞼術	二重瞼	埋没法（糸を皮下に埋入する）・切開法（上瞼皮膚を切開する）があり、一般的には埋没法を行う
	眼瞼下垂	保険適応となる場合あり
シミの治療	炭酸ガスレーザー治療	ほくろ・いぼの除去にも対応
	トレチノイン治療	OBAGI NU-DERM® →下ページをご覧ください！ による治療 他
シワの治療	ボトックス治療	しわや輪郭を作る筋肉の働きを弱める
	ヒアルロン酸・コラーゲン注入法	鼻や顎、輪郭などの形を整える
ケミカルピーリング		にきび・しみ・小じわなどの改善
男性型脱毛		プロペシアの服用 他
ピアス	ピアスホール形成	耳・鼻・へそなどに対応
多汗症		ボトックス注射による治療 他
わきが		手術による治療 他

● 当院美容外科の担当医 ●

金沢医科大学の形成外科専門医
 が担当しますので安心です！



金沢医科大学
 形成外科 川上 重彦教授



金沢医科大学
 形成外科 島田 賢一講師

診察は金沢医科大学形成外科医師が担当し、現在週2日の診察を行っています。日本形成外科学会専門医・日本美容外科学会会員である川上重彦教授（毎水曜日午前）、日本形成外科学会専門医の島田賢一講師（毎金曜日午後）が担当しています。なお手術、学会などにより休診となる場合がありますので、事前にお電話でお確かめください。

● 実際の治療例のご紹介 ●

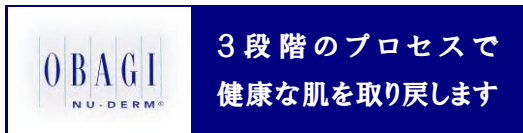
ここでは、OBAGI NU-DERM®(オバジ・ニューダーム・システム)によるシミの治療例をご紹介します。

(治療薬剤料については診察時にお尋ねください)



当院美容外科の患者さんで、もっとも多いのはシミの改善を求める方です。オバジ・ニューダーム・システムでは、市販の化粧品ではなかなか消すことができないシミを、「レチノイン酸」というビタミンAの誘導体を用いてシミを取る治療を行います。

治療はレチノイン酸ゲル、ハイドロキノン乳酸軟膏の2種類の薬を併用していくことで、シミを薄くしていくことが可能です。薬の効果の出方は患者さんによって異なりますので、薬の濃度、使い方などは患者さんの状態に応じて調節していきます。



肌の再生の初期段階

① 反応期 : 古い角質の剥脱

この段階では、ダメージを受けた肌の表層が新しい健康な細胞層と入れ替わります。新しい細胞が表面に到達し、古い細胞が剥がれ落ちるのに、約6週間かかります。



肌の再生の継続

② 耐久期 : 新しい肌の再生

この段階までに、肌はこのプログラムに慣れ、抵抗力がつきます。新しい肌が表面に到達し、肌の再生が実感できるようになります。



肌の再生の最終段階

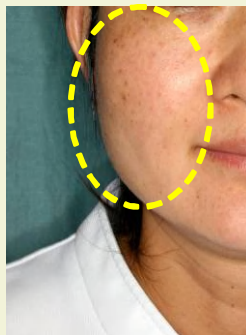
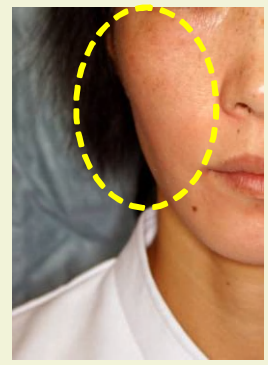
③ 完成期 : 健康な肌の実感

最終段階に入って、肌の抵抗力は更に向上します。トラブルは改善され、健康な肌になります。

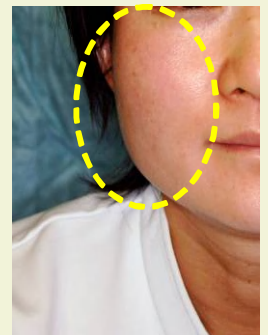
シミが大分うすくなっているのが分かります



4ヶ月後



4ヶ月後



(上写真は当院職員による施行例)

当科では、最初の面談を大切に、治療法による効果・リスクについて丁寧に説明し、インフォームドコンセント(説明と同意)を確認しています。面談の際に何なりとお尋ねください。

また、これらの治療はいずれも美容目的になりますので、すべて私費診療となります。美容手術は疾病に対するものではなく、あくまでも個人の責任のもとに行われる手術です。担当医とよく相談の上、方法を吟味して施行することとなります。